

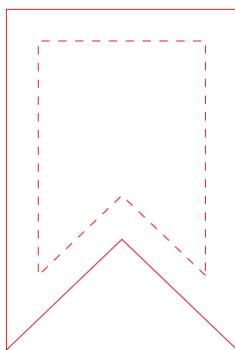
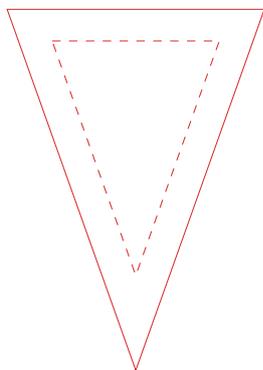
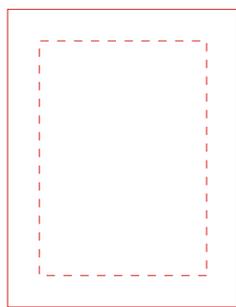
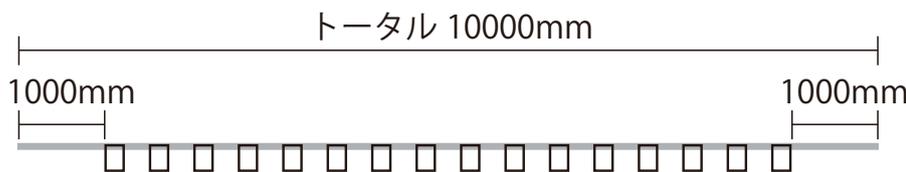
# データ作成の注意点

弊社では頂いたデータの修正はしておらず、お客様にデータを修正して頂いた上で再入稿をお願いしております。データの不備がありますと納期が遅れる原因となります。ご入稿前に十分な確認をお願い致します。

色違いが交互でご希望のご注文の場合は

色のイメージを下記の四角に色をつけて順序をお知らせ下さい。

ポンジ 上部袋縫い、ヒートカット 交互に 300mm 間隔



**点線：仕上がり(断裁)ライン**

**実線：ドブ(塗りだし)ライン**

※ドブ(塗りだし)は、基本的には印刷物を仕上げる際に断裁され捨てられてしまう部分です。しかし、断裁にはどうしても若干の誤差が生じますので、予備としてドブ(塗りだし)が必要です。

## イラストレータでのデータ作成

1. カラーモードは**CMYK**で作成して下さい。RGBで作成した場合、モニター上で見た色と印刷した際の色との再現が大きく異なります。
2. Illustratorでは必ず「トリムマーク」を使ってトンボ(仕上りサイズに断裁するために必要な目印)を作成して下さい。
3. 断裁ラインの天地左右に各30mmの塗り足し分を必ず作成して下さい。**※1**  
(※1色が断裁ラインギリギリですと、断裁のズレにより隙間ができてしまうため印刷サイズまで色を塗り足します。)
4. ヘアライン(線幅のない塗りのみの指定のライン**※2**)は印刷の時に消えてしまいます。ご注意ください。  
(※2 塗りで作った線はモニター上で見えていても、印刷時にかすれたり消えたりするため、印刷ができません。)
5. Illustratorで画像をリンクしている場合は、**リンク画像**も一緒にデザインデータのフォルダに入れて入稿して下さい。
6. データの保存形式はai形式かeps形式にして下さい。

## フォトショップでのデータ作成

1. 印刷物で十分な品質を確保するためには画像解像度の確認をしてください。  
写真などの画像データは、原寸サイズで300~350dpiの解像度が必要となります。  
文字などの線画の画像データは、原寸サイズで600~1200dpiの解像度が必要となります。
2. カラーモードは**CMYK**で作成して下さい。RGBで作成した場合、モニター上で見た色と印刷した際の色との発色に大きな差が出ます。
3. レイヤーの表示・非表示などで、印刷されないレイヤーがあったりすると印刷時にトラブルの原因になる可能性があるため、作業中に作成した印刷に使用する全てのレイヤーは、1枚の背景レイヤーに統合し保存して下さい。
4. 保存形式は**eps形式**か**psd形式**、または**高画質のJPEG**で保存して下さい。